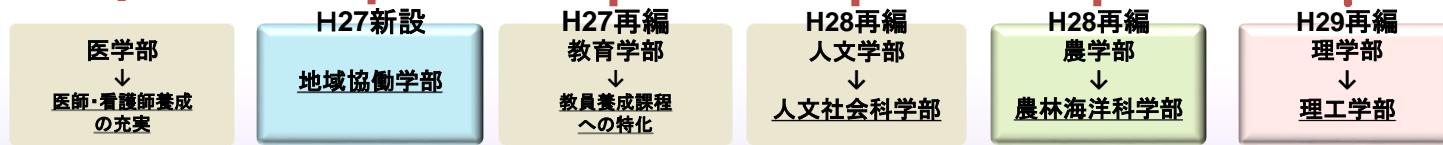
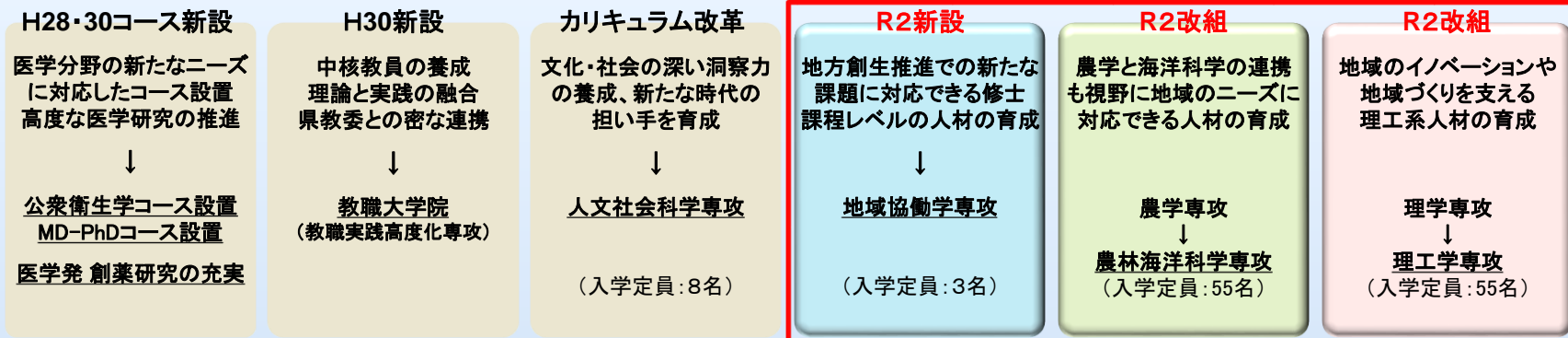


1st Step 学士課程



各学部の **強み・特色** を活かし、「**地域協働による教育**」を通じた人材育成の基盤を構築

学士課程での改革・機能強化を最大化させる大学院段階（修士課程）での組織再編



2nd Step 大学院 修士課程

地域協働学専攻

学位：修士(地域協働学)

【養成する人材像】

①地域協働リーダーの継続的養成、②地域長期ビジョンの策定及び住民との共有、③地域における新たな資源の開発・活用を実現することができる人材

【カリキュラム・研究指導の特色】

○養成する人材像に対応した「専攻共通科目」の配置
 「地域協働教育演習」…人材像①の基礎を形成
 「地域ビジョン策定演習」…人材像②の基礎を形成
 「マーケットリサーチ演習」…人材像③の基礎を形成
 ○「専攻ゼミナール科目」と「研究指導科目」の連携による院生の地域協働実践と融合した研究指導の展開
 「専攻ゼミナール科目」(ゼミナールⅠ～Ⅳ)の役割
 院生の地域協働実践に係る定期報告・指導実践的な研究データを修士論文研究に提供
 「専攻ゼミナール科目」の研究指導上の位置づけ
 「研究指導科目」での修士論文研究の報告
 複数教員(4～6名)による多角的な指導

農林海洋科学専攻

学位：修士(農学)、修士(海洋科学)

【養成する人材像】

農学又は海洋科学の専門知識を基盤として、陸・海域からの資源の安定的確保、資源の開発・獲得及び高度有効利用に係る技術の開発、生産環境及び地域・地球環境の保全・修復により、人間社会・地域社会の持続的発展に貢献できる高度専門職業人

【カリキュラム・研究指導の特色】

○農学・海洋科学それぞれの専門分野の学修とともに、領域横断的な科目を必修科目で配置
 必修科目「農林海洋科学総論」
 必修科目「海洋・陸域の環境と資源の科学」
 必修科目「実践里海再生学特論」
 ○地域の課題に対応した「専攻共通科目」の配置
 「Internet of Plantsセミナー」
 ○領域横断的な研究指導体制による修士論文研究
 「農学分野教員」×「海洋科学分野教員」

理工学専攻

学位：修士(理学)、修士(理工学)

【養成する人材像】

基礎理学の素養を持ち、地域の活性化に欠かせない地域イノベーションの創出や持続可能な地域づくり、災害に強い地域づくりに貢献できる高度専門職業人

【カリキュラム・研究指導の特色】

○学外の社会人・企業人等と連携した実践的な研究企画・立案能力、プレゼンテーション能力の育成
 必修科目「リサーチプロポザル」
 ○数学物理学・生物科学・情報科学・化学生命理工学・地球環境防災学の各分野の専門を深化させる教育体系を基盤とし、「専攻共通科目」「コース間連携科目」を通じて学際的な学修も可能となる教育課程
 ○複数の学問領域から指導教員(主：1名、副：2名)を配置する多角的・複眼的な研究指導体制